

道 徳 (小学校2年) 「ゆう気を出して」 [1-(3)]

1 授業の実際 授業校 千葉市立高浜第一小学校 指導者 松本 菜穂

- (1) 資料名 「よりみち」(出典 「1ねんせいのどうとく」文溪堂)(一部改作)
- (2) 本時のねらい よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする心情を育てる。
- (3) 本時の展開

過程	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導 入	1 よりみちをした経験について話し合う。 ○今までに、よりみちをしたことはありましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいな花を見つけた。 ・友達と遊んだ。 ・おもしろい虫を見つけた。 	○自分自身の経験を思い出すことで、資料の主人公の気持ちについてより深く考えられるようにする。
展 開	2 資料「よりみち」の前半部分を聞いて、話し合う。 ○かなえが少しも楽しくなかったのはなぜでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・見つかったら先生や家の人に怒られるから。 ・友達に見られたら明日言われるかもしれないから。 ・みさきちゃんに嫌われるのがこわくて遊んでしまったけど、断ればよかったと思っているから。 ・勇気が出なくて「だめだよ。」と言えなかったから。 ・家に帰ってから遊べばよかったと思っているから。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の行動がいけないと知りつつ、断りきれないでいるかなえの心の葛藤に気付かせる。 ○大事な友達からの誘いだからこそ、断りづらいことに気付かせる。 ○かなえが勇気をもって断れなかった結果、遊んでも全く楽しいと思えなかったことを押さえる。 ○かなえの表情から、本当はどうしたかったのかを考えさせる。
	3 物語の後半部分を読み、主人公の言葉を考え、役割演技を行う。 ○かなえは何と言ってきっぱりと断れたのでしょうか。かなえになったつもりで発表してみましょう。 <なりきりタイム>	<ul style="list-style-type: none"> ・だめだよ。家に帰ってから遊ぼう。 ・よりみちはいけないよ。 ・約束を守らないで遊んでも楽しくないよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「こんどは、きっぱり」の部分から、かなえは勇気を出して断れたことを想像させる。 ○ワークシートの吹き出しに、自分の言葉で自由に書くよう助言する。

<p>終末</p>	<p>4 学習のまとめとして、主人公に手紙を書く。 ○かなえさんに手紙を書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勇気を出すことが大事だとわかったよ。 ・みさきさんと仲よく遊べてよかった。 ・これからは、ぼくもいけないことはいけないと言えるようになりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが演じやすく、また、見ている側にもわかりやすいように、みさき役（教師）とかなえ役の名札を用意する。 ○演じている子どもには、その人物の気持ちについてよく考えながら演じるよう助言する。 ○見ている子どもには、演じている友達の表情や声の感じなどから登場人物の気持ちについて考えるよう助言する。 ○かなえの表情に注目させ、勇気をもって行動できてスッキリしたことを捉えさせる。 ○学習を振り返りながら、手紙を書くよう助言する。 ○この場で出てきた考えを全体で共有することで、今後の学校生活においても意識していけるようにする。
-----------	---	--	---

2 成果と課題

- 役割演技は、主人公が友達からの誘いに対して葛藤している心情や勇気を出して断れたときの達成感を経験する手立てとして有効だった。
- 終末の主人公に宛てた手紙を書く活動では、「自分もこうなりたい」など自分自身について振り返ることができた児童もいてよかった。
- ワークシートは、吹き出しや手紙の形式を用いたことで、考えたことを自分の言葉で表現することができた。
- 「勇気」という言葉を教師が出したが、役割演技の中や後で児童の発言や話し合いの中から出させ、善悪の判断に勇気が必要であることに気付かせることができるとよかった。
- 主人公の心の葛藤についての話し合いの深まりが十分でなかった。役割演技で断れなかった児童の心情や、児童一人一人の断る理由について教師から問い直すことが必要であった。
- 役割演技は、本時では代表の児童が全体の前で行い、その後全員で一斉に行った。より多くの児童が勇気を出して断れた時の達成感を味わうための手だてとして、グループや少人数で行う手法も今後の授業実践の中で取り入れていきたい。

（文責 高浜一小 松本 菜緒）